



県医師会 立ち上げた

高田診療所

3月11日の地震発生から間もなく、全国のJMATが岩手県沿岸部に駆けつけ医療支援を開始。岩手県医師会ではJMATや県内医師の受け入れに奔走しました。

「医療支援は長期戦になる。JMAT撤収後にどう対応するか」

被災地の状況を把握するほどに、医療体制の先行きを懸念するようになりました。特に陸前高田市では11の医療機関のうち8施設が被災。医療体制の不足が深刻だったのです。

そこで8月、県知事や市長の要請を受け、県医師会は陸前高田市に高田診療所を開設。そして心のケアも強化するため、10月には診療所内に心療内科を立ち上げました。

被災地での医療支援には、困難や衝突がつきものです。どんな些細なことも、次いつ起こるかもしれない震災の教訓になると確信し、仔細を一冊の記録誌にまとめました。

タイトルは「強絆復興」。人と人との強い絆が復興には不可欠である。それも私が震災で得た教訓のひとつです。



岩手県医師会 会長

石川 育成